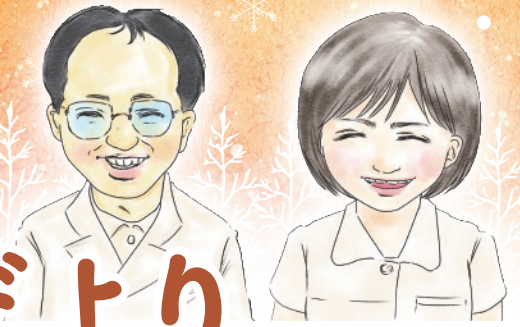


がん相談 支援センターだより



こんにちは☺ がん相談支援センターです。

がんは高齢者に多い病気をイメージしがちですが、年間約、2.8万人のAYA(アヤ)世代と呼ばれる若者が新たにがん罹患しています。AYA世代とはAdolescent&Young Adult(おおむね15歳から39歳まで)のことをさします。学生から社会人、子育て世代とライフステージが大きく変化する年代であり、就学、就労、結婚、出産、子育てなどの課題があります。今回は、若い世代のがん患者さんへの島根県の取り組みをご紹介します。

1 小児がん患者交通費助成事業

公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根において、小児がん(20歳未満で発症したがん患者を含む)の治療を受けるために県内外の医療機関に入院される患者さんやそのご家族の経済的負担を軽減するため、島根県がん対策募金(小児がん対策募金)を活用して、住所地から医療機関への移動にかかる交通費を助成します。

2 妊孕性温存療法に関する助成制度

がん治療によって男性も女性も生殖機能に影響を受けることがあります。そのため、将来、自分の子供を授かる可能性を残すために、がん治療を開始する前に、この妊孕性を「温存する」という選択肢があります。がん治療前に生殖機能を保つための温存療法に要した費用の一部に対して助成金を交付する制度です。

制度の詳細については下記のホームページよりご参照ください。

- 1 (公財)ヘルスサイエンスセンター島根
<https://www.hsc-shimane.jp/files/original/20220113142313945051e0290.pdf>
- 2 島根県ホームページ しまねのがん対策
<https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/kenko/gan/ganninate/>



がん相談支援センターには、島根県の取り組みだけでなく、AYA世代向けの冊子やオンライン交流会のご案内、オンラインセミナー等の情報もあります。お気軽にご相談ください。



【場 所】2階ラウンジ横 がん相談支援センター
【相談時間】平日(月～金)／9:00～17:00
【相談方法】面談または電話(予約・受付不要、相談無料)
【電 話】0855-28-7096

